

予算常任委員会

補正予算2億6993万円を賛成多数で可決

予算常任委員会は本会議から負託を受け6月14日に付託議案の審査、20日に各分科会審査報告、同報告に対する質疑並びに会派質疑、22日に討論採決が行われた。

■主な歳出

次世代定住支援事業費補助金	310万円	誕生祝い金支給事業費	384万円
市内での住宅取得に対する補助金。		誕生祝い金として一子につき3万円支給。	
地域密着型サービス施設等整備事業費補助	9,600万円	介護施設開設準備経費等支援事業費補助金	1,676万円
グループホーム2施設、小規模多機能介護1施設。		3施設分の給料・備品等の補助。	
放課後児童対策費	573万円	ごみ処理場管理運営費	3,574万円
新規に中川小内に児童クラブ開設費用。		ベルトコンベアーの修繕料。	
し尿処理場管理運営費	334万円	公共用地取得費	7,957万円
定期修繕の為の設計料。		田沢湖マラソン大会会場の用地取得費。	

議論のポイント

予算委員会質疑から

子育て世帯の 移住・定住について

質問 4月から始まった次世代定住支援事業の実績はどうか。
答弁 申し込みは3件である。いずれも移住でなく、定住対策分である。

質問 市の定住対策についてであるが、条例では市外から移住し新築、または建売住宅を購入した方だけを対象にしていたが、市内の方も同様に補助できるように変更したことは評価するものである。

しかし新築・購入したのに子供がいなくて、この制度に該当しないというのでは納付できない。
答弁 先行事業である「住宅リフォーム推進事業費補助金」等でも18歳以下の子供となっており、整合性を図った所である。

児童クラブと 待機児童について

質問 放課後児童対策事業573万円だが児童と指導員の状況はどうか。賃金が安い等で不足していないか。正職員は配置できないか。待機児童はいないか。

答弁 児童はほぼ全クラブで増加傾向にある。今回の補正は、ポプラ学園と角館児童クラブに

各1名の支援員を置くための費用である。支援員は非常勤職員であるが、基本1日4時間、年次休暇も取得可能、県の研修にも参加している。

当初入園調整の5名も4月1日で入園決定、年度途中で0歳児2名申し込みがあり1名民間にお願いでおり、もう1名は調整中である。

田沢湖マラソン会場の 取得について

質問 取得費7,957万円であるが、地権者との話の経緯はどうか、その根拠は何か。今後どう活かすか。

答弁 地権者から市に話があり、メイン会場としてはここ以外ないし、日本陸連公認コースでもある。

根拠は国税庁の固定資産評価額に相続税評価倍率を乗じた額を基準に算定した。

今までは民有地なので最小限の整備だったが、今後はイベント広場としてきちんと整備できる。

三セクや庁舎の 今後の見直しについて

質問 西木温泉ふれあいプラザクリオンの事業内容は何か。社員数はいくらか。又反省点や改善点はないか。

角館地域センター職員1名欠員につき、新たに臨時雇用されると聞いているが、正職員の補充はできないか。

答弁 クリオンは市民の心身の保護、健康増進施設である。常勤従業員18名、パート・アルバイト従業員18名合計36名で運営されている。又、管理業務の実施状況等確認し指定管理者と連携して運営している。

昨年よりも職員が16名減少し、角館地域センターのみならず、各部署で十分な職員配置が出来ない状況が続いている。

反対討論

地域センターの臨時職員雇用の予算であるが、業務・事務量も他センターより多くしかも専門性と責任が要求される。同一労働、同一賃金の原則からも相反するので反対する。

賛成討論

切れ目のない子育て支援めぐし、子供がいなくても補助を受けられるよう速やかに変更して頂くことを付して賛成する。